

## コミュニティ・スクール事業 ～地域・家庭と学校の結びつきの強化を目指して～



平成 25 年度に始まった「コミュニティ・スクール事業」は今年度で 5 年目となりました。市教育委員会では、この事業を通して、もともと地域との結びつきが強い富山市の学校の特徴を生かしながら、地域や保護者との連携をより深め、学校教育活動を充実させたいと考えています。

今年度は、コミュニティ・スクール（呉羽小学校・堀川中学校）に奥田北小学校と保内小学校の 2 校を、また、モデル校（五福小学校・興南中学校）に藤ノ木小学校と藤ノ木中学校の 2 校を新たに設置しました。

市教育委員会では、この事業の効果を設置校以外にも広げるため、毎年、コミュニティ・スクール研修会を開催しています。12 月 7 日に行った今年度の研修会では、呉羽小学校と藤ノ木中学校から次のような取り組みが紹介されました。

### ○呉羽小学校・藤ノ木中学校の主な実践内容

〔呉羽小学校〕 CS スタッフ活動（本の読み聞かせやクラブ活動指導者）  
地域と学校をつなぐ缶バッジの製作と関係者への配布

〔藤ノ木中学校〕 藤ノ木小学校との小中連携事業（挨拶運動、教員間の交流 等）

西 孝一郎氏（CS マイスター）を招聘しての小・中合同研修会の開催

また、講師として招聘した CS マイスターの新谷さゆり氏には、「地域とともにある学校」と題して、岐阜県の白川村立白川小・中学校での学校運営協議会の立ち上げから、現在に至るまでの成果や課題についてご講演いただきました。

市教育委員会では、富山市教育振興基本計画に従い、平成 30 年度末までに小・中学校の約 10 校にコミュニティ・スクール及びモデル校を設置し、学校と家庭・地域との結びつきをさらに強めていきたいと考えています。

## 教育センター発

## 中学校校務支援システム導入について ～校務の効率化を目指して～

平成 30 年度より、中学校に校務支援システム（エデュコム C4t h）を導入します。校務支援システム導入は、次のことを目的としています。

### ① 帳票の簡素化

帳票等を簡素にし、事務的負担の軽減を図り、生徒とかかわる時間を増やす。

### ② 安定化したシステム

安定化したシステムで、安心して業務に取り組む。

### ③ 便利な機能の活用

システムの便利な機能を有効に使い、スムーズな学校運営に生かす。

昨年 8 月より、現場の教員、学校教育課、教育総務課、教育センターでプロジェクトチームを作り、校務支援システム導入推進会議を行ってきました。現場の教員にとってどのようなシステムになればよいか、話し合いを重ねてきました。一番大切にしてきたことは、教員の校務の負担が減り、生徒とかかわる時間が増えるようにすることです。そのため、「出席簿の記録を毎時間から 1 日のみとする」「指導要録をデータで保存する」などの変更があります。

各中学校では、システム導入に向けて 1 月より校内研修や準備等を行っていただきました。ぜひ、4 月から本システムを有効に活用していただけることを願っています。

原簿 頁数		21日		平成 29 年度 5 月													
出席は空欄のまま、欠席中欠席は(○)、事故は(△)、遅刻は(×)、早退は(△)、出席停止は(●)		日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
		曜	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
番号	氏名	5/7入															
1	江戸 太郎	5/28出															
2	江戸 次郎																
3	江戸 三郎																
4	江戸 一子																
5	江戸 二子																

<月に1枚となる出席簿(サンプル)>